

稲WCS生産に係る課題と収支概算 (耕種側)

小型稲WCsの課題①

○天候の影響

- ・雨が降ったら数日作業ができなくなる。
- ・作業途中で雨が降ると、品質低下につながる。

○集落営農が収穫作業を行う場合

- ・主食用米の刈り取り時期と重なり、作業日を確保するのが難しい。

小型稲WCSの課題②

○収穫・調整には多くの人手が必要

- ・ 運搬車の運転 1、 運搬車への積み込み 2、
運搬車から下ろす・ロールベアラーへ載せる 2、
ロール後一時保管スペースに置く 2 の計 7 名配置

(他に集草トラクター運転 1、 ロールベアラー運転 1、
乳酸菌散布 1、 ラッピングマシン操作 1 の計 4 名、
同時作業には最大 1 1 名必要)

小型稲WCSCの課題③

- アタッチメント（ディスクア、レーキ）の取り付け
 - ・トラクター(集落営農から借りた)のアタッチメントの取り替えがされておらないため固着しており、ロータリーの取り外しに時間がかかった。

- ローラーベラーの詰まり
 - ・乾燥が不十分な場合は詰まりやすく、1回詰まると数人でローラーに挟まった稲を取り除く必要があった。

小型稲WCSの導入に向けた提案

様々な問題により、大面積での栽培が困難なため、集落営農が機械を所有しての経営は難しい。



収穫関連の機械を所有している畜産農家に、収穫・梱包作業を担っていただけたらどうか。

収穫・梱包の作業委託費について

(10aあたり、千円)

	収入	経費	差引
主食用米	107	96	11 (所得)
稲WCS	93	67 (委託費除く)	26

○主食用水稲:16ha、稲WCS : 4haの経営の場合

○委託費はロール代が0円ならば15千円までなら主食用米並みの所得を確保できる。